

高台自主防災会だより No.5

発行日：2020年8月25日

発行人：防災会会长 山中繁

6月27日から8月1日まで、21グループで「ご近所・グループ懇談会」が開催されました。

沢山の方々がご参加いただきご苦労様でした。

災害からご近所の命を守りあう取り組みとして、高台地域を22グループに分割し、さらに1グループを3班に小分けした組織がつくれました。向こう3軒両隣の班は、日頃の交流と協力により、災害時の助け合いを目的に結成されました。懇談会はこれまでに、22グループ中21グループが終了し、残る1つのグループは、コロナ感染に配慮し、状況を見て懇談会を開催します。



グループ懇談会の様子
(グループ9)

懇談会で出された感想や意見の一部を紹介します

・転入してまだ新しいが、地域としてすごい取り組みだ。

有り難い

・初顔合わせの場となり、子どもが班やグループの皆さんに見守って頂けるので有り難い

・高齢者で一人暮らしだが、若い方が来られたので心強い。よろしくお願いします

・行方不明者が出ていた時や、子どもが迷っている時など、顔を知っていることが大事です

避難場所（一時的）と避難所（継続的）について

・避難所は、居心地のよい雰囲気にして欲しい

・密にならないように部屋を分散し、支援を要する人の教室等を事前に決めて欲しい

・避難場所は、車を留められるように学校グラウンドも開放してほしい

・西乙訓高校避難所は、「避難勧告」で開放すべし。「避難指示」での移動は危険です

・避難場所に冷・暖房装置とテレビを設置してほしい

・避難所の水道が止まった時の備えはありますか。池の水の活用を検討してはどうですか

避難方法について

・市が避難をアラートしたら避難すること。自己判断は危険です

・高齢者夫婦だが、動かない方がかえって良いのではないかと思っています

・支援をする人の移動手段はありますか

・市の広報車の音が聞こえない。ゆっくりと路地の中まで巡回してほしい

ハザードマップについて

・熟知することだ。広島ではこれを軽く見て大惨事になった。教訓にして欲しい

・液状化の発生場所、道路が分からぬ。適切な避難道路を明示してほしい

・線状降水帯等による土石流は、どの池が危険かを事前に知らせ、避難路を明示してほしい

土砂災害と崖崩れについて

・かけ崩れのゾーンは示されているが、対策がない。建築許可が出なかった



災害本部

高台自主防災会の災害本部は高台集会所（さくら会館）に置きます

本部電話 080-5359-0136（山中）、0901919-6390（後藤）、090-9714-3170（大崎）

高台地域で考えられる災害（市発行のハザードマップ等により説明）

1.ため池（4か所）の越水、決壊

①芦原池 ②鎮守池 ③金原寺池 ④原田池

・金ヶ原地域の山手にある水量が1,000m³以上で500m以内に住宅がある重点ため池

2.土砂災害

・山、谷川からの土石流が池を突破又は越水して土砂災害が発生する（イエローゾーン）

高台地域には、上記①、②、③の池が関係

3.崖崩れ（レッドゾーンとイエローゾーン）

・警戒区域は高台3丁目の一部と4丁目のおよび第4中学校体育館。

4.大地震

・家屋倒壊、池の決壊による災害、地滑り・液状化、火災など

・金ヶ原～円明寺断層（震度6強）、有馬～高槻断層（震度6強～7）

・南海～東南海地震（震度6強）70%の確率で迫っている模様

5.大規模盛土造成地の滑動崩落＝液状化現象

・高台の一部が液状化危険度「中」、（京都府マルチハザード情報提供システム）

6.台風

・土砂災害を伴う場合のみ避難場所が開設される（市の見解）

避難所及び避難場所

1.大雨の場合の避難場所

・第4中学校避難所（避難勧告=レベル3で開設）
・西乙訓高校避難所（避難指示=レベル4で開設）
→勧告での開設を要請中

※上記以外に避難する場合は、事前に班長または班員に伝えて下さい

2.地震の場合の1次避難場所

グループ毎の避難場所は次の通り。別の所に避難する場合は班長または班員に伝えてください

・1、2、6、9グループ 2号公園

・14～17グループ 3号公園

・18～22グループ 4号公園

・3～5、7、8グループ 6号緑地公園

・10～13グループ 第4中学校

3.車での避難場所

高速道路下のホタル公園と西條公園が指定されています

4.「無事です」のステッカー

避難する時、または自宅で避難する時に、玄関に掛けて下さい。班長さんやご近所の人が無事を確認する目印です

班長、グループ長、避難場所担当幹事の役割

災害発生・避難場所が開設されたとき、避難場所担当幹事は避難場所の配置につきます

